

2019年度 特別研究推進費実績報告書

2020年 4月 27日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 外国語学部・教授  
(氏名) 白石麻保

2019年度に交付を受けた特別研究推進費に係る研究実績について、  
次のとおり報告します。

研究課題名	中国企業のレントシーク行動の実態に関する実証研究：企業のイノベーションへの動機付けとの関係に注目して					
実施内容・研究成果の要旨 (概要書を別途添付)	<p>本研究では、中国を事例として、企業のレントシーク行動の観点より企業の政府との関係維持への動機付けの内容の解明を行った。将来的には本研究で得られた結果を基礎として企業の政府との関係維持への動機付けが形成される理論的メカニズムの解明へと展開していく予定である。この政府との関係維持への動機付けとその内容の実証的解明は、企業の政府とのポリティカルコネクションの維持のための行動の有無と当該企業の経営状況や設立年数、取引企業、融資の多寡等企業の状況、及び技術革新への志向やその現状、将来性への認識の実態把握を主たる分析テーマとして行われた。具体的には以下の手順である。</p> <p>1. 分析はまず、実態把握のために中国における現地調査によって、現在の中国企業が今後の経営、例えば上場、イノベーション、といったさらなる企業の発展に向けてどのような取り組みを行っているかについてその概況を描いた。その際、政府や金融機関の支援の有無やイノベーションへの取り組みへのインセンティブがどのように企業に付与されているかなどについても状況把握をおこなった。</p> <p>2. その上で、企業データ等を用いて市場競争が激しい中国の中で、市場からの淘汰メカニズムが効率的に機能しているか、換言すれば何らかの効率性、競争力とは別の要因により淘汰されるべき企業が市場にとどまっている、そしてその結果淘汰メカニズムをうまく機能させていない状況がないか、検証を行った。</p> <p>3. イノベーションに関する企業の行動に政府との関係がどのようにかかわっているか、初歩的な実証分析に着手した。</p> <p>4. 上述にかかわる学会報告を国際学会にて行い、また論文として投稿、または投稿準備中である。</p>					
	合計	使用内訳 (単位：円)				
交付決定額	658,199	備品費	消耗品費	報酬	その他	旅費交通費
支出額	658,199				39,955	618,244
執行残額	0					
共同研究者	所属・職名	氏名		役割分担等		